

中学2年 国語「魅力的な提案をしよう」

ねらい

- ・言葉には、相手の心を動かし、行動を促す働きがあることに気づくことができる。
- ・自分の考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。

学習展開（6時間）

第一時

課題 <ビブリオバトルに必要な情報を整理しよう
～その本にはどのような魅力があるか～>

- ・ビブリオバトルの流れを知り、本の紹介に必要な情報を整理する。

第二時

課題 <プレゼンの構成を考えよう～興味を引くためには、どんな工夫をすれば良いか～>

- ・プレゼンの展開の工夫の仕方を知り、自分のスピーチの構成を考える。

第三～四時

課題 <発表の練習をしよう～どんな話し方の工夫をすればよいか～>

- ・聞き手の興味を引きつける話し方を知り、練習をしながら工夫点を考える。

第五時～六時

課題 <ビブリオバトルでチャンプ本を決めよう
～どんなところに心が惹かれたか～>

- ・ビブリオバトルを通して、人を惹きつけるプレゼンの方法を考える。

指導のポイント

学習に対する関心・意欲を喚起するため、単元の導入の際、ビブリオバトル全国大会出場者の発表を紹介し、魅力的な提案をしていた人は、どのような工夫をしていたかを考えさせた。

また、スピーチの内容や構成を考えた後、『伝え方が9割』という本から、「サプライズ法」や「クライマックス法」などといった聞き手の興味をひきつける方法を紹介し、スピーチの中に取り入れるように指導した。

ビブリオバトル関連本の展示&授業の様子



学校図書館との関わり

年度当初の図書館オリエンテーションの際、一学期中に国語の授業で「ビブリオバトル」をすると予告してあった。

また、国語科担当と図書館司書教諭からおすすめの本を紹介したり、図書館で「ビブリオバトラー推し本」の展示コーナーを設けたりしたため、生徒らは日常的に図書館に通い、様々な本を手にとって、ビブリオバトルに備えていた。

授業後も、紹介された本を借りようとする生徒がいた。紹介された本は、図書館で写真とともに展示した。また、昼休みにビブリオバトルの様子を図書館で流した。